

## 会 議 録

### 1 会議名

令和元年度 第5回金谷区地域協議会

### 2 議題（公開・非公開の別）

(1) 防犯協会・交通安全協会の所管区域について（公開）

(2) 今年度の出張地域協議会について（公開）

### 3 開催日時

令和元年9月25日（水） 午後6時00分から午後7時49分まで

### 4 開催場所

福祉交流プラザ 第1会議室

### 5 傍聴人の数

0人

### 6 非公開の理由

—

### 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：高宮宏一（会長）、川住健作（副会長）、村田敏昭（副会長）、  
伊崎博幸、牛木喜九、桑山敏男、齋藤邦博、竹内恵市、永野起男、  
山口茂幸

・事務局：南部まちづくりセンター 堀川センター長、佐藤係長、小林主任

### 8 発言の内容

#### 【小林主任】

・石野委員、伊藤委員、高橋委員、土屋委員、西条委員、吉村委員を除く10人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

・同条例第8条第1項の規定により、議長は高宮会長が務めることを報告

#### 【高宮会長】

・会議の開会を宣言

・会議録の確認：伊崎委員、齋藤委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

**【堀川センター長】**

- ・資料により説明

**【高宮会長】**

- ・事務局の説明について質疑を求めるがなし

一次第3議題（1）防犯協会・交通安全協会の所管区域について—

**【高宮会長】**

次第3議題（1）「防犯協会・交通安全協会の所管区域について」に入る。

前回の会議では、「金谷区の地域課題」について、残りの課題の進め方を協議した結果、「地域の組織の一体化」を優先して協議することに決まった。その中でも、防犯協会と交通安全協会の所管区域が小学校区と一致していないことが課題として挙げられたことから、本日はそれについて自主的審議事項に取り上げるかどうか協議する。

まずは地域の現状などについて、事務局に説明を求める。

**【小林主任】**

- ・金谷区には3つの小学校があり、黒田小学校区の町内会は灰塚地区、飯小学校区の町内会は飯地区の防犯協会・交通安全協会の組織に入っているが、高田西小学校区の町内会は、灰塚地区・飯地区・南高田地区の3つの防犯協会・交通安全協会に分かれている
- ・高田西小学校は、中学校への進学に際しても、城西・城東・城北中学校の3つに分かれる
- ・本日の協議では、まず「なぜ区域の不一致が起きたのか」、「区域が一致しないことによる問題点は何か」といった現状を整理したうえで、「問題点の解決に向けて地域協議会でできることは何か」を整理し、自主的審議事項に取り上げてさらに深く議論を進めていくかどうかを協議してほしい。

**【高宮会長】**

- ・事務局の説明について質疑を求めるがなし

「なぜ区域の不一致が起きたのか」について委員に意見を求める。

#### 【村田副会長】

現状知り得る限りのことを話す。高田西小学校区の大貫1丁目～4丁目、すなわち金谷、神山、大貫、平山町内会が、高田西小学校区なのに二分されて、金谷・神山は黒田小学校区を統括する灰塚地区防犯協会・上越交通安全協会灰塚支部、大貫・平山は飯小学校と高田西小学校の2校を統括する飯地区防犯協会・上越交通安全協会飯支部に入っている。これを不一致とするのかは考え方の違いだと思うが、恐らく灰塚駐在所のエリアが、金谷・神山まで含まれているのだろう。実際に駐在所の方は、金谷・神山までは回っているが、大貫・平山までは回っていない。あるいは昔、大貫小学校が廃校になった時に、金谷・神山町内の子どもたちは南本町小学校へ、大貫・平山町内の子どもたちは大手町小学校へ移ったそうだ。それから数年たって高田西小学校ができ、大貫の4町内が高田西小学校に入ったことも背景にあるのではないかと。

もっと詳しく知っている方がいたら、発言してほしい。

#### 【高宮会長】

皆さんご存知のとおり、飯には飯駐在所が、灰塚には灰塚駐在所があった。しかし、飯駐在所が高田駅前交番に統合されることになり、飯駐在所がなくなった。その関係で、大貫の4町内の子どもたちが分離されたような形になったと思う。

#### 【齋藤委員】

詳しい経緯は分からないが、高田駅に駅前交番ができ、飯駐在所が廃止になった。しかし、交通安全協会や防犯協会は、駐在所がなくなっても組織として機能したため、今のような形になったのだろう。

問題を感じながらも活動してきて、組織としては定着してきたのだが、日々の取組の中で不具合は感じていると思う。交通安全協会については、小学校の入学式に、それぞれの支部長から来賓として来ていただき、挨拶や、交通安全の黄色い帽子の贈呈をしている。飯支部の支部長は大貫の方であり、大貫は飯小学校区ではなく高田西小学校区になる。工夫してうまくやっているというのが実態であり、難しい問

題は出てきていないが、何とかすっきりできる方法があればよいと思っている。防犯協会・交通安全協会の組織同士で1回議論してみたらよいのではないか。

**【山口委員】**

私は城西中学校の第3期生で、2年生までは金谷中学校だったが、3年生になって城西中学校へ移行した。当時は金谷・神山の子どもも城西中学校で一緒であり、交通安全の活動についても、黒田小学校区の町内と一緒にしていた。後に高田西小学校が開設されたことで、金谷と神山が離れたのではないか。

**【高宮会長】**

不一致はなぜ起きたのか、大体理解いただけたかと思う。

「区域が一致しないことによる問題点は何か」について、委員に意見を求める。

**【川住副会長】**

防犯協会と交通安全協会を一緒に考えると、大勢の人に集まっていただいて協議しなければいけないため、今回は防犯協会のみで話を進めるのがよい。というのは、正式な要望ではないが、黒田小学校での防犯協会の会議が終わった後に、金谷と神山の町内会長から、「子どもは黒田小学校に来ていないため、この会議に出ても場違いではないか。」という意見があった。そこでいろいろ調べてみたら、金谷・神山町内の子どもは黒田小学校へ来ていないのに、防犯協会費は何十年ものあいだ黒田小学校に納めている。活動に関しては総会に1回来るだけ、というのが続いているため、町内会長から「場違いでは」という声上がるのは当然である。昨日、金谷・神山の町内会長に確認を取り、「ぜひ自分の子どもが通っている学校で活動したい。」とのことであった。ぜひ飯防犯協会の組織に入るようにしてほしい。それについては、事務局から駐在所関係に確認してもらっている。あとは、毎年の会費が減ることもあるため、黒田小学校の学校運営協議会等で校長・教頭に説明して、「このような事情で金谷・神山町内会が飯地区へ移ることになるかもしれないが、どうか。」という話はしたい。飯地区防犯協会にはまだ確認が取れていないため、その辺を聞きたい。

**【高宮会長】**

現在、私が飯地区防犯協会の会長を務めている。副会長や委員には説明していな

いため、これから話すことは、私自身の考え方として理解してほしい。

金谷・神山町内会が入られても、特に困ることはないかと思う。先般、地域活動支援事業で、飯地区防犯協会の雨合羽が採択され、各町内会に希望数を配布した。ネームは「飯地区防犯協会」と入れてあるが、高田西小学校区の大貫・平山町内会は、オレンジキャップ隊として学校までの児童の安全安心の見守り活動をしている。その辺をどうするかという問題が出てくるかと思うが、大きな問題ではない。

また、高田西小学校での防犯活動においては、校長や教頭先生に聞いたところ、防犯協会の会長等と呼び、児童に伝達するようなことはしないとの返事があった。学校で行事があればいつでも伺うと話しているが、実現はしていない。

#### 【川住副会長】

交通安全協会と防犯協会は組織が別で、会長もそれぞれ違う。一度に解決しようとするとな話が複雑になるため、今回は防犯協会のみとしてほしい。防犯協会は避難訓練などで小学生に何か教える場合は小学校単位であるが、交通安全協会は小学生の他にもいろいろな方が対象になるため、分けて考えても支障はない。とりあえず防犯協会について、金谷・神山町内会の移動がうまくいくかどうかを見極めてから、交通安全協会を検討してもよいのではないかと。

#### 【山口委員】

灰塚地区防犯協会から金谷・神山町内会が抜けることで、会費面や活動面での問題や、変更の手続き等は出てくるのか。

#### 【川住副会長】

灰塚地区防犯協会の会費は、現在黒田小学校の教頭が担当している。教頭は2～3年おきに交代するが、引継ぎでうまく伝わらなかったためか、黒田小学校の児童の見守り活動の書類が、金谷・神山町内会へ届けられた。そういった細かい部分が引継ぎの時になかなか伝わらないという問題もある。会費が減ることに関しては、その分担当範囲が狭くなるため、困ることはないと思う。近々、学校運営協議会があるため、校長・教頭先生に話をしてもよい。このようになるかもしれないという話を通しておけば、会費が減ることについては了解いただけると思う。

#### 【齋藤委員】

いずれにしても、現状としては、大貫の4町内が2つに分かれているということ。これについて、大貫の皆さんがどのように感じているのか。村田副会長、いかがか。いろいろと言いたいこと、思っていることはあると思う。飯小学校区の町内としては、特段問題はないが、やりづらい部分も感じているので、大貫の4町内としてはどうか。

**【村田副会長】**

金谷・神山の2町内は、違和感をずっと持っていると思う。大貫・平山町内は飯地区の防犯協会・交通安全協会に入っているが、飯地区は飯小学校と高田西小学校の2校を担当するという考えで活動してもらっている。灰塚地区は、黒田小学校区の防犯協会・交通安全協会という形になっているとすれば、そこに神山・金谷が入っていても、共に行動できない。昨年から、会費以前の問題で、「自分たちは会議に出るのもおこがましい。」と考えていることを聞いている。

**【竹内委員】**

高田西小学校区の中には、まだ中通町がある。これを抜きにして、大貫の4町内だけを考えるのはおかしいのではないか。金谷・神山町内会は灰塚に近いためそちらの方に、大貫・平山町内会は飯の方に、4町内会がそれぞれ別々にどちらに属するか考えたため、このように決まったのだろう。最初から論議するならば、中通町も含めた高田西小学校区の防犯協会ができればよいのではないか。飯の駐在所がなくなり、高田駅前交番になった。大貫・平山町内は高田駅前交番の管轄であるため、高田西小学校区全体を駅前交番の管轄にして、それぞれの防犯協会を作る方向で提案できればよい。できれば、中通町だけ外れることは避けたい。高田西小学校区として、いろいろ問題を考えていくことができればよい。まずは、駐在所・交番の管轄区域について情報を得てから、そこに住む皆さんが一番よい方法でまとまっていければよい。

**【高宮会長】**

先般、正副会長と事務局との事前協議において、「高田西小学校区で防犯協会を設けたらよいのではないか。」という話も出たが、簡単にはいかない。それには、中通町が入っている組織がどうなっているか。高田西小学校区の中では、中通町の他に

寺町1丁目、2丁目が同じ組織に入っている。該当する各町内会に意見を聞く必要がある。

**【川住副会長】**

中通町も一緒に考えると、話がまとまらなくなる可能性がある。何回か協議を重ねないと難しい。金谷・神山町内会から、飯地区へ行きたいという明確な方向性が示されている。要望が出ているものから一つずつやってみて、その結果、中通町の人からも「こうしたい」という要望が出れば考えてみてはどうか。中通町、金谷、神山と一緒に物事を進めるとするのは、理想的ではあるが、なかなか決まらないのではないかと。とりあえず金谷・神山町内会を実行してみて、その反応を見るのが近道ではないか。

**【高宮会長】**

地域協議会としてどう関わればよいか。各町内会長に話をするのか。金谷・神山町内会は了解しているとのことだが、大貫・平山町内会にも話をするのか。

**【川住副会長】**

移動したいという希望を持っているのが、金谷・神山町内会。それを受け入れる飯地区防犯協会に問題がなければ、よいのではないかと。反対する町内がありそうなのか。抜けられる灰塚地区防犯協会としては、会費は減るが、事情を説明すれば了解を得られると思う。飯地区防犯協会の総会などで各町内会に問題があるか話をすると思うが、金谷・神山町内会が望んでいることに反対する意見はないと感じている。

**【高宮会長】**

会議を開いたわけではないので、私の考えだが、飯地区防犯協会としては、もめることはないかと思う。毎年総会は5月に開いている。それまで先送りにするか、その前に臨時総会をやるかどうかということになるかと思う。

**【齋藤委員】**

金谷・神山町内会が飯地区へ移りたいということで、望んでいるなら真剣に考えていかなくてはいけない。また、それに対して「遠慮してくれ」という意見も特になくはないと思う。

防犯協会と交通安全協会が、金谷区にそれぞれ3つあるということになったのは、飯の駐在所の関係や、高田西小学校ができたこと、人口が増えた町内は再編成されたこともあるだろう。3つの防犯協会・交通安全協会のエリアは一緒なのだろう。そのため、防犯協会の区域だけを変え、交通安全協会はこのままというのは、かえって問題をこじらせてしまうのではないか。小学校区の単位で活動している部分が多々あるため、小学校区を大きなまとまりとして編成し直すのがよい。要は、高田西小学校区として独立していただく。そうすると、中通町も含めて、それぞれの小学校区として、3つに収まる。金谷区にいて、違う小学校へ行っているところはない。3つの小学校区を基にして防犯協会・交通安全協会の区域を考えるのが、一番すっきりとしてよい。活動しやすい形というのを論点にして話をしていくべきだろう。また、地域協議会の委員だけで話を進め、自主的審議をして市長に意見書を提出すれば、「地域協議会で好き勝手に話している。」ということになりかねない。地に足をつけた中で議論していかなければいけない。

#### 【村田副会長】

この案件については、市へ意見書を提出するものではない。地域内での解決に向けた議論をするべきである。

また、小学校区を基本に考えるというのも一理あるかもしれないが、では中学校区はどうなるのか。城西、城東、城北中学校でまた違ってくる。小学校6年生までを対象にして、中学1年～3年生は対象外という矛盾が出てくる。また、防犯協会・交通安全協会は、昔からの警察の駐在所・交番のエリアの中でできたと思う。したがって、小学校単位、あるいは中学校単位で協会を作るというのは、変ではないか。どうしても統一したいのであれば、金谷区防犯協会や金谷区交通安全協会と、28町内を全部一緒にすれば何も問題はない。しかし、それだと非常に大きな話になるため、金谷区が飯地区と灰塚地区の2つに分かれているのを、どのように割り当てたらスムーズにいくか、ということを考えたらよい。

#### 【高宮会長】

話の持っていく方とすれば、私が飯地区防犯協会の会長をしているため、金谷・神山町内会から移動の要望が出ているということ、上越交通安全協会飯支部の会

長に伝えて検討してほしいということは言えるかと思う。そうすれば、防犯協会だけでなく、交通安全協会についても話を進められる。金谷・神山町内の子どもは、黒田小学校ではなく高田西小学校に行っており、飯地区に入りたいと希望していることを説明し、交通安全協会も飯支部に入れてもらうよう話をしたい。私に預けてもらえたら、次回の会議までに返答できるようにしたい。

#### 【竹内委員】

防犯協会と交通安全協会は、両方とも警察が管轄しているのか。今回の会議だけで結論を出すものではない。警察で何とかできないか聞いてみてはどうか。警察もどんどん組織を縮小し、エリアを再検討しているようなので、中通町も含め、警察の考え方を確認する。中学校の関係では、防犯なら不審者が出たとか、あるいは交通安全だと、この交差点で子どもが怪我をしたとか、情報が入ってくる程度であり、防犯協会として活動したというのは、あまり聞いたことはない。高田西小学校区の町内会のほか、警察の意向も確認した上で話を進めたらどうか。高田西小学校区の町内会だけだと、いろいろと問題があるのではないかと。飯地区に入ってきて、役員になり手がいないとか、高田西小学校と飯小学校の卒業式は会長がどちらも行くのかとか、防犯の日の活動はどうするかとか、いろいろ問題を抱えることになるため、各団体や、各町内会長の意向を聞き、結論に持っていったらどうか。

#### 【高宮会長】

上越交通安全協会と上越市防犯協会の事務局は、どちらも上越警察署内にあるが、部署が違う。竹内委員のとおり、警察に聞いてみる必要がある。

#### 【堀川センター長】

9月11日に正副会長と事前協議をした。翌日、上越警察署に連絡した。防犯協会の担当である生活安全課に電話し、町内会の構成を再編する場合どうすればよいかと聞いたところ、「地域の皆さんで話し合ってください、その結果を私たちにお聞かせいただければ結構である。」という返答だった。交通安全協会は、上越警察署の中にある事務局の方と直接話をした。その方は、「金谷区の小学校区が入り組んでいる現状について、やりづらい部分を感じている。しかし、これを再編するとなると、過去の経緯もあるため非常に難しいだろう。ただ最終的には、地域で話し合った結

果を連絡してもらえたら、こちらで適宜対応する。」という話だった。駐在所の管轄は関係なく、地元の皆さんでエリアについて話し合い、整理してもらえればよいという話だった。

**【高宮会長】**

・金谷・神山町内会の飯地区への加入について、各防犯協会・交通安全協会の会長等に話をして進めていくことでよいかを諮り、委員全員の了承を得る

**【竹内委員】**

金谷・神山町内会が移動したいと言っているため、問題は起きないと思う。少し話し合えば、整理がつくと思う。

**【村田副会長】**

川住副会長から防犯協会だけ移動するとの意見があったが、齋藤委員のとおり、防犯協会も交通安全協会も区域が同じである。交通安全協会はまた後で、となると、足並みが乱れてしまうため、同時に移動するのが望ましい。飯地区防犯協会の会長は、高宮会長。灰塚地区防犯協会の会長は体調不良で、川住副会長が代行している。これに加え、交通安全協会飯支部・灰塚支部の会長が、同じテーブルで話をしていく姿が望ましい。すぐに引っ越しはできないため、時間をかけて、今年度はこのままにして来年度とか、そのように進めていけばよい。

**【高宮会長】**

そのように持っていきたい。次回会議で状況を報告したい。

—次第3議題（2）今年度の出張地域協議会について—

**【高宮会長】**

次第3議題（2）「今年度の出張地域協議会について」に入る。

本日は、飯公民館での出張地域協議会の内容について決めたい。実施の案については、資料No.1のとおりである。

事務局に資料の説明を求める。

**【小林主任】**

・資料No.1により説明。

**【高宮会長】**

議題の案である「正善寺線のバス路線について」、齋藤委員に地域の現状の説明を求めらる。

**【齋藤委員】**

8月下旬に、市から正善寺線のバスの見直しについて協議したいと話があり、沿線の上正善寺、中正善寺、下正善寺、飯の町内会長が集まり、市担当課から概略を聞いた。正善寺線のバスについては、廃止ではなく、違うバスの形態を検討する。現在は往復で4便あるが、土日が運行しないため非常に不便である。しかし、増便すれば乗車率が下がり、即廃止の状況になってしまう。皆さんからバスを利用してもらうために、イベントを実施するなど地元としてやれることは行い、沿線住民もいろいろと協力しているが、なかなか乗車率が上がらない。年間300～400万円近くの補助をもらい、何とかバスを運行している。また、古い車両の更新も必要であり、市の財政を圧迫している。その中で正善寺線については、路線バスではなく、10人乗り程度の乗合いタクシーでやっていく方向が示されている。説明を聞き、使いやすくなる部分もあると感じたが、地元の方はその説明だけで納得しないと思う。正善寺の一番奥の方にとっては、死活問題になる。平場に住んでいる方と正善寺の奥の方とでは感じ方が違うが、同じ沿線の住民として協力してきたため、沿線地域全体として取り組んでいってほしい。近日中に正善寺線バス利用促進協議会の臨時総会があり、市担当課から説明に来てもらう。他にも、例えば飯町内は10月上旬と、各町内会での説明会も準備しているとのことである。そのため、11月の出張地域協議会の時には、沿線の住民の人たちは既に話を聞いていることになるが、市の話聞いてから時間を置いた中で、出張地域協議会で改めて話を出せば、また違った話ができるのではないかと。

**【高宮会長】**

実施内容について委員に意見を求める。

**【村田副会長】**

地元の団体や町内会への説明がなされた後に地域協議会で議題にするとなると、

「地元で方向性が決まったのに、なぜ地域協議会で改めて取り上げるのか。」という意見が出ないか心配されるのだが、その点はどうか。地元の方向性がどうなったかを確認してから議題に取り上げるかどうか決めたらよいのではないか。

**【齋藤委員】**

路線バスの話について説明を聞き、時間を置いてから改めて話をするのも意義があるのではないか。簡単に了解を得られないと思うため、少し間をおいて、じっくりと考えてもらう。時間を置くと、いろいろな考え方が出てくるのではないか。当日は、市担当課から説明に来てもらえるとのことである。委員の皆さんも、路線バスと関わっていない町内もあるため、初めて聞く方もいると思う。

**【村田副会長】**

協議会委員もその会議に出席して、よく理解して臨まないといけない。地元の方はよく理解しているのに、協議会委員が知らないのでは具合が悪く、会議の進行もおぼつかない。会長が代表して会議に出席するなどした方がよい。

**【堀川センター長】**

出張地域協議会で説明に来てほしいと路線バスを担当している交通政策課に連絡したところ、交通政策課から事前にこの計画について協議会委員に説明したいと話があった。次回10月23日の会議で、市が策定を進めている計画の全体像と、正善寺線も含めた金谷区内の各バス路線の再編の方向性について、事前説明を聞いてもよいのではないか。その時に、疑問があればぶつけていただいて結構かと思う。計画の策定が間近に迫っているため、意見が反映できる最後のチャンスだと思う。11月27日にもう1度交通政策課が来るため、その時に回答を聞くことにしてもよい。また、地元説明会で出された意見を10月23日の会議で集約し、11月27日に交通政策課から回答を聞くというパターンもありかと思う。そういった段取りを考えてみてはどうか。この後、会長から諮ってもらい決めてほしい。

**【村田副会長】**

10月23日は、諮問ではなく説明になるのか。

**【堀川センター長】**

説明である。

【高宮会長】

- ・ 次回の10月の会議では市担当課から説明を聞き、そこで出された質問等を出張地域協議会の議題に結び付けるよう進めることを諮り、委員全員の了承を得る。

― 一次第4 事務連絡 ―

【高宮会長】

次第4「事務連絡」について、事務局に説明を求める。

【堀川センター長】

- ・ 今後の日程

第6回地域協議会 10月23日（水）午後6時～ 福祉交流プラザ

内容：公の施設の使用料改定について行政改革推進課から説明

市の公共交通計画について交通政策課から説明

- ・ 配布資料

令和元年度地域活動支援事業（金谷区）主な行事予定表 [10月～12月]

平成30年度地域活動支援事業事例集

柿崎区地域協議会意見書（写）

創造行政研究所ニュースレター「創造行政」

ウィズじょうえつからのおたより

【高宮会長】

- ・ 事務局の説明について質疑を求めるがなし

【伊崎委員】

金谷区若者みらい会議について報告する。

各町内会館にポスターを貼らせていただいた件については、協力いただいた村田副会長と各町内会長に感謝する。

9月23日に第2回会議を行った。参加者は20代～30代の方約15人。ワークショップ形式で、「金谷区にあったらよい」、「やってみたい」という案をたくさん出してもらい、そこから2つに絞り、具体案を検討した。一つは、金谷区で大人の

文化祭をやったらどうかという意見。内容としては、音楽フェスやフリーマーケット等々、すごく楽しそうなアイデアが出た。もう一つが、巨大迷路を作成して、大人も子どもも楽しめるようなイベントをしたらどうかという意見。2つとも大きなイベントであるため、今年度中に実施できるかは分からない。次回の10月27日は、新規の方も募集して、今年度内に何かできるようなイベントというテーマを進める予定である。今回残念だったのは、参加者がほぼ私の知り合いで、金谷在住の方が3人、金谷区近辺在住の方が3人、私が初めてお会いする方は0人という状態だった。皆さんからは、地域の若い方で面白い方がいたら、「若者みらい会議という面白い会議をやっている。」と声をかけてほしい。参加者が増えれば面白いアイデアがさらに出てくると思う。ご協力願う。

**【高宮会長】**

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課  
南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。